

いじめによる自殺が相次ぐのを受けて、駐大阪・神戸米国総領事館のパトリック・リネハン総領事らが、若者向けのビデオメッセージ「It Gets Better」を作成した。「必ずよくなるから」

という意味で、いじめの要因の一つとなる性的マイノリティーの問題をはじめ、さまざまな悩みを抱える若者を勇気づけたいという。

(小西博美)

## 「人生は必ずよくなる」

# 米総領事が自殺防止動画



作成したビデオを披露するパトリック・リネハン総領事（左）とエマーソン・カネグスケ氏＝西宮市菊谷町、米国総領事公邸

「It Gets Better」は、もともと米国で作られた動画サイトで、オバマ大統領や歌手のレディー・ガガさんが性的マイノリティーの若者に

自殺防止のメッセージを寄せている。最近日本でも、若年層の自殺が目立つことから、ビデオの制作を思いついた。オバマ大統領のメッセージ

## 同性愛などいじめ被害者にエール

その後、同性愛者であるリネハン総領事と夫のエマーソン・カネグスケ氏が登場し「私はゲイです」と告白。「若い人の自殺に心が痛む。私はその苦しみを知っており、差別される気持ちもよく分かる」と話し、それでも「事態は必ずよくなる」と訴える。

さらに「今では大統領はゲイの外交官に敬意を表してくれ、私は大阪で外交官を務めている。チャンスを待っていれば、人生は必ずよくなる。一緒に頑張りましょう」と呼び掛けている。

リネハン総領事は「いじめや自殺の裏側には、広い意味での人権意識が絡んでいる。悩む若者に、現状は厳しくても必ず道は開けると伝えたい」と話している。

メッセージは、日本語と英語があり、いずれもインターネットで閲覧できる。